

自民党の茂木敏充幹事長は2日夜、増額する軍事費や少子化対策の財源について、税収の上振れ分も充てるべきなどの考えを示しました。東京都内で開かれた茂木派議員のパーティーで講演し、インボイス（適格請求書）制度の導入という事実上の大増税を強行しておきながら、「安易な増税にすぐ走ることは慎重でなければいけない」と述べました。

軍事費財源「負担増目白押し」

自民幹事長「税収増活用も」

茂木氏は2022年度の国の一般会計税収が過去最高を記録したことに触れ、「歳出改革の徹底や税収増の活用によって、内外の危機に適切に対応しながら、国民の負担増にならない方策を検討したい」と述べました。

現実には自公政権のもとで「歳出改革」を名目にした社会保障の改悪が進められており、国民負担増の計画も目白押しです。